



静岡市立静岡病院

岩堀 聖子 さん

看護師経験：35年 看護師長（診療看護師）

特定行為取得区分

21区分38行為
 （ユニホームで区分けている。）
 2024年より診療看護師として活動



受講の動機・きっかけは…

特定行為研修を受講することを決意した背景には、自施設が特定行為研修指定医療機関を目指すことになったという大きな転機がありました。2018年、研修機関の立ち上げに向けて訪問した施設で診療看護師の姿を目の当たりにしました。例えば、入院患者に対して観察状況から敗血症スコア等で急変予測をし、対応できるようにアセスメントをしておりました。高い洞察力と患者の状態悪化を未然に防ぐ介入力に深い感銘を受けました。その後、自施設で特定行為研修が開講され、研修生を担当する機会を得ました。指導者として、第1期生の研修生たちの熱意あふれる学びの姿勢に触れる中で、自分自身も受講生と共に学び、成長したいという思いが一層強くなりました。更に年齢を重ねる中で、セカンドキャリアを考えるようになり、患者さんにより直接的に貢献できる役割を担う診療看護師を目指しました。



やりがいは…

現在、集中治療室に在籍していますが、組織横断的な活動が可能となるよう、定数外配置として勤務しています。主に、開心術や大血管手術後の患者さんを対象に、中心静脈ライン（CVライン）や心嚢・胸腔ドレーンの抜去といった特定行為を実践しています。ICUの患者さんは容態に応じて転室することも多く、状況に合わせた柔軟な対応が求められるため、特定の病棟に限定されず、幅広い領域で活動を行っています。また、RRT（迅速対応チーム）の役割も担い、集中治療室から一般病棟へ転室した患者さんの病棟ラウンドを実施しています。この中で、患者さんの状態を把握し、早期の介入を行うとともに、病棟スタッフに対して適切なサポートや指導を提供することを重視しています。こうした活動を通じて、より多くの医療従事者が特定行為への興味や関心を高める一助となれば嬉しいです。特に、ICUでせん妄があった患者さんがHCUに転室し、ラウンド時に「ありがとうね」と声をかけてくれる瞬間は、回復過程を実感できる貴重な機会となり、とても嬉しいです。



Interview



1日のスケジュール

午前

- ・医師と心臓血管外科カンファレンスに参加
- ・多職種での手術カンファレンスに参加
- ・集中治療室の患者への特定行為の実施（医師からの依頼） 及び対応サポート
- ・集中治療室の患者の多職種カンファレンスに参加

午後

- ・集中治療室での対応
- ・心臓血管外科カンファレンスに参加
- ・集中治療室転出患者のラウンド等



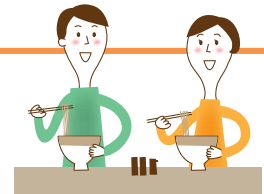
みなさんに伝えたいこと

お世話になった診療看護師から「一人の100歩より100人の1歩」という言葉を教えていただきました。できるだけ多くの特定看護師がいてほしい。ケアにしても学習にしても、1歩進むことが患者さんの回復につながると思います。些細なことでも患者さんのための1歩を共に進んでみませんか。



趣味・楽しみ

楽しみは、夫と蕎麦屋巡りをしたり、羊羹や豆大福が大好きなので食べながらのんびりした時間を過ごすこと。



組織ビジョン & 応援メッセージ



青山 治子

副病院長兼看護部長

自院では現在17名活躍している特定行為看護師を2030年までに50名育成する目標を立てています。これは、高度

専門医療や急性期医療を担う病院として、看護師らが24時間・365日相談できるような常時特定看護師が配置できるようにするためです。特定看護師を常時配置することで、タイムリーな患者対応、安全な医療提供、看護の質向上を目指していきたいと考えております。

現在、看護の質向上を目指し、特定看護師とペアナーシングを行い、アセスメント力や

組織ビジョン & 応援メッセージ

ケアについて OJT の中で学びを深めております。これは若い看護師らに人気で、特定看護師とペアになれる日を待ちわびているような状況です。また、今年度は ICU 新人教育を特定看護師らが担当し、例年より新人が 2 か月早く独り立ちができるようになりました。既卒の入職者教育にも大活躍しています。

医師のタスクシフト・タスクシェアも進み、実践件数を上げておりますが、何より、特定看護師には積極的に看護師の教育や相談に携わり、看護師 1 人ひとりが予測する力・予防する力・実践する力を身に着ける事が、看護部理念である「患者さんのよりよく生きようとする力を引き出す看護の提供」に結びつくものと期待しております。病院長も特定看護師には、医師のタスクシフトとともに

に、「医療・看護の質」を向上させることにより、急性期病院の役割機能が担えと期待してくれています。

<どうする特定看護師の会>

静岡済生会総合病院・静岡厚生病院・静岡市立病院の看護部長と特定看護師が全員集まって情報交換する会があります。活動としては 2023 年から具体的に活動！年 3 回開催しています。



集中治療領域・特定行為研修指導医、心臓血管外科 寺井 恭彦 医師



特定行為研修修了者は日常看護の間に多くのことを勉強し大変な努力をされて研修を修了されています。まずは研修を修了したということを誇りに思ってもらいたいです。特定行為研修を行った看護師と他の看護師の大きな違いは我々医師の目線からみた考え方が身についていることかと思います。

医師がどのように考えて指示を出しているのかというのが今まで以上に理解でき、さらに発展すればそれが正しいのかという判断も根拠を持ってできるようになると思います。特定行為研修修了者が医師に代わって仕事を行ってくれることで我々は医師がやるべきことに集中できるようになってきています。非常に助かっています。特定行為研修を受けた看護師が伸び伸びと十分に実力を発揮できるようにインセンティブも含め病院の環境が今後もっと整っていくことも期待しています。

